

## 講義レジュメ

講 師 浦崎 太郎

内容・テーマ

キャリア教育・職業教育

期 日 平成30年8月13日

【主題】 キャリア教育や職業教育を担う社会教育の受け皿を充実する必要性

【構成】

1. 現況と今日的な課題

- 現況 : 学校教育が主たる担い手
- 課題 : 地域の当事者性が圧倒的に不足 / 学校と地域の意思疎通も不足

2. 諸課題の深層と国の政策

- 深層 : 「役割の細分化・固定化」「所属指向」による創造性・生産性等の低下が進行
- 政策 : “唯一解のない課題を多様な人々と協働して解決する態度と能力”

3. 社会教育が果たすべき役割

- 学校教育や地域・産業振興部局等とビジョンを共有した上での学習機会提供
- 小中高生等が「地域で」「地域を」「地域と」「地域のために」学び行動する機会の拡充

4. 参考となる実践例や調査例

- 山形県最上地区：管内高校生を対象とする社会教育プログラム「ジモト大学」
- 岐阜県飛騨市：産業人材の育成や採用等に関する地元企業等への調査、ほか

5. 課題解決にむけたプロセス

- 深層や全体像に関する部門別の事前学習をふまえた対話の場づくり
- 小中高生等の受け皿充足にむけた地元人材等の組織化